

たけすい

TAKUSUI
No. 715

5

May.2016

発行 (一財)兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



熱気球 (加西市)

森 武美氏が旭日双光章 受章 新入職員紹介

《今月の海上安全標語》～ ハインリッヒの法則 ～

1つの大きな事故のかけには、29件の軽い事故があり、事故にならないギョツとしたことは300件も繰り返されているという「ハインリッヒの法則」。海難事故防止のためにも早めの対応が必要です！

ギョツとした！ 思い出してね ハインリヒ では、今月も安全操業で！

ようこそ

「ずっと真っ直ぐに」

(ようこそとは航海用語で「宜しく候」の意。主に船を直進させるときの手合として使われる)

いつの間にか

兵庫県信用漁業協同組合連合会 監事 磯田 和昭



19歳で香住から神戸に出て、新たな仕事、苦手な算盤を使つての事務に「続けられるのだろうか」と不安を抱いたものが、気が付けば定年を超えてしまった。

当時、本所には15人程の職員がいて、機械装備は据置型の計算機が1台、湿式のコピー機が1台、文書は手書きが基本であり和文タイプが時々文書作成に使用されていた。出勤時間は始業時間直前で残業もない、時間的にも精神的にも余裕のある時代であった。

時は流れ、事務は手作業からシステム化、文書を手書きすることもなくなった。金融業界は金融ビッグバンとやらで、我が業態からは遥かに遠い世界の動向から加速度的に金融自由化が進展、金利の自由化を皮切りに業務の自由化が実施され、この進展に伴い様々な制度や規制が取り入れられ、何かと難しい時代になってしまった。定期貯金の金利も入会当時には6パーセント程あったものが今や無いに等しくなった。

定年となつてから早2年が過ぎ、歳なりにか昔のことをよく思い出すようになった。嬉しかったこともあるが、辛かったこと、あのときこうしていたらと悔やむことの方が多い。なぜか失敗ごとはいつまで経つても鮮明に覚えていたものだ。後悔先に立たずと言うが、時を戻すことができるとしたらどうするだろうか。

折々に受けた言葉にも忘れられないものがある。若輩にご意見くださった大先輩の方々、兄貴的で長きに亘つて何かと声を掛けていただく方々には感謝の思いでいっぱいである。

もう少し仕事を続けることになりそうであるが、「やっておけばよかった」「しなければよかった」と思うことがないよう心掛けたい。

街でふと思つたことがある。

「窓に映る景色、自分が動くと変わる、仕事・人生も同じかな」

また「信頼無くして、仕事成らず」とか。

こんな歌詞もある。

「顧みて／恥じることない足跡を／山に残したろうか」。

はて、自分はこれまで、そして今後、どうなんだろう…

CONTENTS

No.715 May. 2016

- 2 ようこそ
- 3 平成28年 春の叙勲
平成28年度 県功労者表彰
- 4 JFマリンバンク なぎさ 誕生へ
- 5 「ディープブルーリボン」を井戸知事に手渡しました
海難事故をなくそう
- 6 平成28年度 のり共販終了
- 7 JF共済役職員研修会
「漁連の魚屋 とれびちひょうご」ランドオープン
- 8 系統・漁協新人職員紹介
- 12 浮力合羽着用で助かりました
- 13 兵庫JCC通信
- 14 旬に想う
大輪田塾だより



表紙の言葉

「熱気球」(加西市)

(写真撮影：JF兵庫漁連 津田英幸さん)

写真は、今年3月に加西市の鵜野飛行場跡で行われた熱気球の全日本学生選手権の様子です。

全国から14大学が参加した同選手権は3日間かけて行われ、学生らは地上に設定された目的地に向かって飛行し、マーカーと呼ばれる砂袋を落とし、飛行の正確さを競い合いました。

熱気球はバーナーで空気を熱し、外気と比べ比重が軽くなることで得た浮力を用いて浮揚する気球の一種で、日本国内で日本人による初めての有人飛行は、1969年に北海道で、京都大学・同志社大学の学生らからなるイカロス昇天グループと北海道大学探検部が共同で製作した「イカロス5号」とされ、その後、スカイスポーツとして各大学で盛んになっていきました。

この日、加西の空には色とりどりの熱気球が浮かび、大勢の人が見守りました。

平成28年 春の叙勲

森 武美氏が旭日双光章を
受章されました



平成28年春の叙勲において、森 武美氏（JF福良・兵庫県漁協女性部連合会長・元全国漁協女性部連絡協議会長）が、平成9年に兵庫県女性部連合会長に就任後、魚食普及活動や生協との協働による植樹活動等を率先して推進するとともに、全国漁協女性部連絡協議会長として東日本大震災被災地への支援活動や自立した組織づくりに尽力された功績により旭日双光章受章の栄に浴されました。

心よりお慶び申し上げますとともに、今後益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。

平成28年度 県功労者表彰

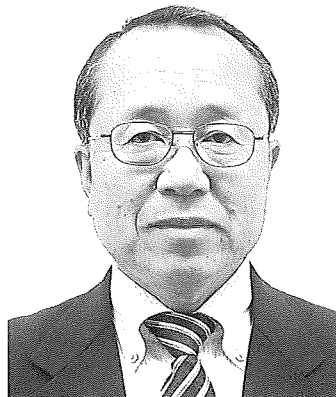
～水産関係から2名が受賞～

兵庫県は5月3日（火）、「平成28年度県功労者表彰」の受賞者の発表を行い、水産関係から2名の方が選ばれました。なお、授賞式は5月18日（水）に神戸市中央区の県公館で行われました。受賞されました方は次の通りです。

【農林水産功労】

社領 弘 様

（JF兵庫信漁連副会長理事・
JF一宮町代表理事組合長）



【農林水産功労】

中川 照央 様

（JF室津代表理事組合長）



JFマリンバンク なぎさ 誕生へ

兵庫県信用漁業協同組合連合会

兵庫信漁連・和歌山信漁連 合併契約調印式



(写真提供：JF全漁連)

先駆け、平成25年12月より本格的な協議（統合協議会（理事により構成）5回・統合信漁連推進委員会（理事及び監事で構成）4回・作業部会（参事他により構成）33回）を進めてまいりました。

その結果として取りまとめた「統合基本計画書」が双方の理事会において承認され、平成28年6月の通常総会において最終の方向性を決定することとしておりますが、平成28年4月6日に来賓として水田正和水産庁漁政部長、岸宏全漁連会長、宮園雅敬農林中央金庫副理事長にご臨席いただき、山田隆義兵庫県漁連会長、木下吉雄和歌山県漁連会長立会いのもと合併に向けた合併仮契約調印式を行い、平成29年4月1日を合併予定日として取り進めることとなりました。

この合併により、貯金残高1、117億円・貸出

兵庫信漁連業協同組合連合会（代表者：山田峰人）以下、兵庫信漁連と和歌山県信用漁業協同組合連合会（代表者：榎本秀春）以下、和歌山信漁連は、将来にわたり会員及び利用者の負託に応えていくためには、県域を越えた大同合併が最善の選択肢であるとの共通認識を持ち、現在全国段階で研究・協議が行われている「広域信漁連構想」に

金残高278億円・出資金27億円（平成27年3月末現在）の信漁連が誕生します。

新たに発足する組織は、明るく未来に向かい、かつ親しみを持っていただきたいの思いを込め、名称を「なぎさ信用漁業協同組合連合会（愛称 JFマリンバンクなぎさ）」に変更することとしています。

JFマリンバンクなぎさは、合併の効果である規模拡大による経営力の強化、本部機能の効率化による浜の窓口の充実、両県の蓄積してきたノウハウの共有と相乗効果をもって、我々の最大の使命である会員及び利用者の皆様方に満足していただける「安心」の金融サービスを「安定的」に提供していくことを目指し、また、漁村に根差し、その地域で生活するすべての皆様に愛される金融機関を目標としています。

また、今回の合併により、全国漁協系統金融の新たな

両信漁連の概要（平成27年3月31日現在）

組織の概要

名称	兵庫県信用漁業協同組合連合会	和歌山県信用漁業協同組合連合会
創業	昭和26年10月8日	昭和30年11月18日
本店住所	兵庫県明石市中崎1丁目2番3号	和歌山県和歌山市雑賀屋町東ノ丁33番地
会員数	正会員43会員 准会員3会員	正会員34会員 准会員3会員
役員数	常勤役員3名 非常勤役員11名	常勤役員2名 非常勤役員8名
代表理事会長	山田 峰人	榎本 秀春
職員数	63名	43名
店舗数	本支店 6店舗 営業店15店舗	本支店 4店舗 営業店 3店舗
出資金	1,736百万円	1,005百万円
貯金残高	694億円	423億円
貸出金残高	214億円	64億円
当期剰余金	15百万円	10百万円
自己資本比率	13.72%	10.69%

貯金残高の推移

(単位：百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
兵庫	65,668	69,094	66,958	67,733	69,407
和歌山	40,831	41,663	41,738	42,072	42,252
合計	106,499	110,757	108,696	109,805	111,659

貸出金残高の推移

(単位：百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
兵庫	26,111	25,149	23,149	22,075	21,404
和歌山	7,691	7,785	6,451	6,780	6,405
合計	33,802	32,934	29,600	28,855	27,809

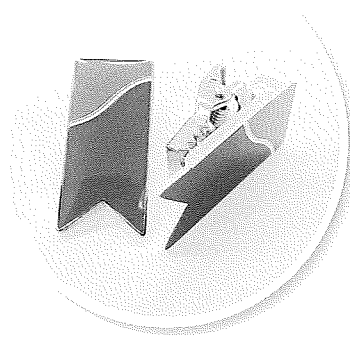
ビジネスモデルとなるような組織を構築する所存であり、今後全国段階で本格的な協議が進展する「広域信漁連構想」についても積極的に参画し、リーダーシップを発揮していく所存です。

なお、合併に係る基本事項は下記の通りです。

1. 合併比率・・・1対1の対等合併
2. 名称及び愛称・・・なぎさ信用漁業協同組合連合会（JFマリンバンクなぎさ）
3. 本店所在地・・・兵庫県明石市

豊かな瀬戸内海を取り戻す 「ディープブルーリボン」を

井戸知事に手渡しました！



山田 隆義会長が県庁知事室を訪れ、兵庫県 井戸 敏三知事へバッジを手渡しました。

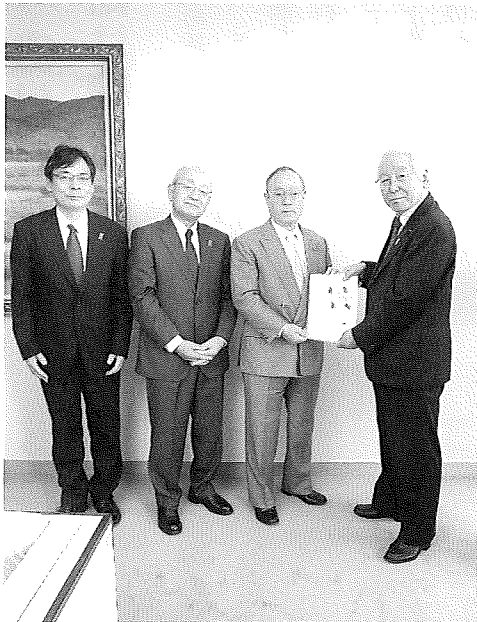
このバッジは3色で構成され、緑色は海に栄養をもたらす「山」、青色は「海」を表し、緑と青の間には、山と海を繋ぐ「川」そして「砂浜」をイメージさせる曲線を白色で表現しています。

このバッジは、今後、県内各JF役員や行政担当者をはじめ、他県へも送る予定にしております、「美しく豊かな海実現のシンボル」としての活用を図っていきます。

(文：兵庫県水産振興基金)

瀬戸内海環境保全特別措置法の一部改正案については昨年9月25日に可決成立し、今後は、各湾・灘において具体的な方針等について議論が進められることとなります。

そこで、JF兵庫漁連と(一財)兵庫県水産振興基金では「真に、美しく豊かな海」と実感できる日まで、共に熱意と関心を持ち続けよう」という誓いを込めてディープブルーリボンと名付けたシンボルバッジを作成し、4月22日(金)にJF兵庫漁連



海難事故をなくそう!

ライフジャケットを着よう!

ライフジャケットを着用することで助かる可能性は飛躍的に向上します。

自分自身のために、そして、家族のために是非、着用してください!



ライフジャケット(固型式)
モデル：兵庫県内海漁船
保険組合
青木 美奈さん

～安全をサポート～ 浮力合羽はお持ちですか？

浮力合羽はJF兵庫漁連が開発したもので、皆様の安全をサポートします。

浮力は充分にあり、動きやすいように工夫されています。まだお持ちでない方は是非!



※国土交通省の型式承認試験基準に合格したものではありませんので、一人乗りの漁船の場合、ライフジャケットを着用してください。

モデル：兵庫県内海漁船
保険組合
天野あゆみさん

ライフジャケット・浮力合羽の購入は
所属JFかJF兵庫漁連資材部(078-942-9272)までお問い合わせください

平成28年度のり共販終了 〜今漁期は約15億枚を生産し終漁〜

今期のノリ養殖を締め括る共販となる第14回乾のり入札会が、5月10日（火）、JF兵庫漁連のり流通センター（播磨町）において行われ、約100名（40社）の出席がありました。この日の入札会には約4,900万枚が上場され、共販金額は4億6,314万円（平均9・37円）となりました。

今漁期は、当初、高水温の影響でノリ網張込み作業の完了に約1〜2週間



挨拶を行う山口専務

の遅れが生じたことに加え、摘採時の強風などの影響があったため、やや低調な生産で幕を開けました。年明け以降、生産量は回復し順調な生産が行われるなか、色落ちが発生したのですが、全国的な不漁等の要因もあって、単価面で支えられ、最終的には多くの浜は生産を継続したまま終漁を迎えました。今漁期とおしての兵庫県ののり共販は生産枚数14億9,989万枚（昨年比・1億2,285万枚減）、共販金額158億2,923万円（昨年比・10億529万円増）という結果となりました。（別表参照）



来期も順調な生産がされることを願ってやみません

最終共販の挨拶に立ったJF兵庫漁連 山口徹夫専務は、熊本県を中心とした地震に対するお見舞いを述べた後、今漁期を振り返って「生産枚数は昨年を下回ったが、価格面で支えて頂いた」と入札商社の皆様へ感謝の意を表しました。また「悲願であった瀬戸内海環境保全特別措置法の一部改正にともない、豊かな海を取り戻す運動を積極的に進めていく」と今後のノリ養殖環境の改善に力を入れていくことを話しました。続く、兵庫県海苔入札指定商組合の松谷晃理事長（松谷海苔代表取締役社長）は「全国的にも生産枚数が伸びなかった漁期で、ノリ商社にとっては厳しい1年であったが、今後もノリの安定生産のためにも頑張っていきたい」と挨拶されました。

平成27年度 兵庫県乾のり共販結果

	共販年度	共販枚数	共販金額	平均単価
本 県	平成27年	14億9,989万枚	158億2,923万円	10円52銭
	平成26年	16億2,274万枚	148億2,394万円	9円12銭
	平成25年	13億2,664万枚	110億2,843万円	8円30銭
全 国	平成27年	74億1,766万枚	854億6,673万円	11円52銭
	平成26年	80億6,838万枚	847億2,599万円	10円50銭
	平成25年	70億5,647万枚	648億2,901万円	9円19銭

（平成28年5月10日現在、最終共販（宮城・11日開催、熊本・12日開催）は含まず）



JF共済役職員研修会 開催

兵庫県JF共済推進本部（共水連）は、4月26日（火）グリーンヒルホテル明石において、平成28年度JF共済役職員会議を開催しました。

当推進本部では、昨年度より組合長、管理職員ならびに実務担当者同席のもと一年間の活動報告及び次年度の活動計画等について報告しており、今年度は県下27共同事業組合および関係団体等総勢75名の出席がありました。

会議の冒頭、戎本裕明本部長（JF明石浦）が挨拶し、まず4月14日に発生した熊本地震で被災された皆様にお見舞いを申し上げ、厳しい共済事業環境の中で一年間推進活動にご尽力いただいたことに感謝を述べました。平成27年度はJF共済の主幹商品の一つである「生活総合共済（くらし）」が、阪神・淡路大震災発生から20年が経過し、当時ご加入いただいた契約が大量に満期を迎えました。そこで、満期更新の徹底をはかった結果、推進

本部の数量計画を達成することができました。平成28年度においても引き続き組合長のご理解のもとJF共済の推進活動が組合一丸となって展開いただくよう要請しました。

この後、推進本部の平成27年度活動報告ならびに平成28年度活動計画、県下6地区推進協議会の活動報告及びコンテスト表彰を行ったほか、今回初めての試みとして、組合長・参事・実務担当者をお招きの「今後の共済事業について」と題したパネルディスカッションを行い、各階層を超えて様々な意見が交わされました。

会議終了後の懇親会では、活発な情報交換が行われ、終始和やかな雰囲気の中閉会となりました。
（文：共水連兵庫事務所）



様々な意見交換があったパネルディスカッション

「漁連の魚屋とれびちひょうご」グランドオープン！ J A兵庫六甲 パスカルさんだ一番館内に」



4月2日（土）、J A兵庫六甲「パスカルさんだ一番館」内にJF兵庫漁連の直売所「漁連の魚屋とれびちひょうご」がグランドオープンしました。

この日は、グランドオープンとあつて約2,000人の来客者があり、開店と同時に売り場は大いに賑わい、好調な滑り出しとなりました。また「新仔ちゃん」とのじゃんけん大会には、たくさんの参加者で大いに盛り上がり、会場は終始笑顔が絶えないオープンとなりました。

この日の好調なスタートを切る事ができた「漁連の魚屋とれびちひょうご」が、これからも長く地域の皆様に愛される店舗となるよう、関係者一同、努力してまいります。

（文：JF兵庫漁連）

本日に美味しいものを届けることが食料産業の責任だと思っている。J AとJFがタッグを組めば、それが可能になる」と挨拶をしました。この後、来賓の三田市 森 哲男市長、県阪神農業改良普及センター 鍋谷 敏明所長の挨拶に



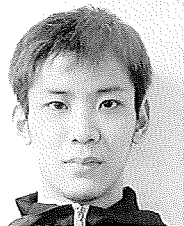
多くの来店者で賑わいました！



3体のキャラクターも交えての鏡開き

系統・漁協新人職員紹介

新たに採用された職員の
皆さんをご紹介します

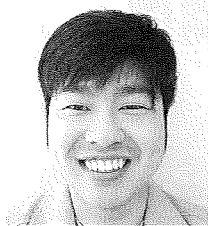


JF林崎

業務部 販売課
わかまつ せいじ
若松 清二

組合の職員としての責任を持ち、集中して仕事ができるように頑張りたいです。

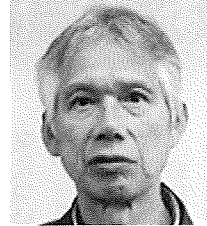
現場仕事の多い販売課ですが、体力には自信があるので、即戦力となれるように努力します。



JF神戸市

管理部 会計課
はまさき じゅんぺい
濱崎 淳平

昨年の10月1日より神戸市漁業協同組合の管理部会計課で働いている濱崎淳平と申します。私は生まれも育ちも垂水なので、自分の地元である場所で働けることを大変うれしく感じております。また、仕事においては会計の仕事のみならず、現場のお手伝いをさせて頂いたり、時には船に乗ったりと多種多様な業務に取り組めることにも魅力を感じております。まだまだ、自分自身未熟な面も多いですが何事にも前向きに、積極的に取り組んでいこうと考えております。



JF兵庫

はまべ しずお
浜辺 静雄

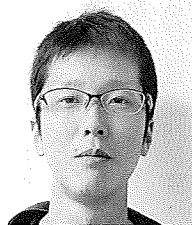
漁師のことはまだ判らないことばかりですが、一生懸命勉強し、漁業組合事務で漁師さんの力になりたいと思っております。



JF室津

直販担当
みぎ まさととも
三木 雅友

直販業務において地産地消を推進し業務拡大を目指してまいります。

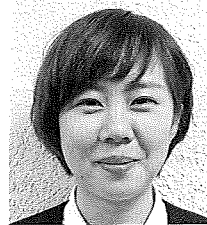


JF林崎

業務部 販売課
とうじ ひろき
田路 大樹

仕事に慣れないうちは、周囲に迷惑をかけてしまうことがあります。失敗を恐れず仕事に励み、一日でも早く皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。

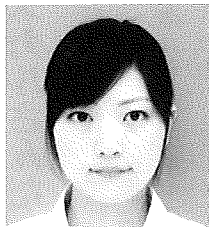
今後ともよろしくお願いします。



JF神戸市

管理部 総務課
こたに りお
小谷 厘旺

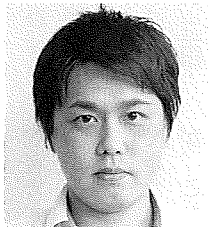
昨年4月から神戸市漁協に勤務しています。入社から1年経ちましたが、まだまだ不慣れな点はたくさんあります。なので、1日1日成長していけるように頑張りますのでよろしくお祈いします！



JF南あわじ

いわもと あやな
岩本 紋奈

昨年4月に入組致しました岩本紋奈と申します。春に入組してから今日までの1年間は本当にあっという間でした。最初は分からない事ばかりで戸惑いの連続でしたが、その度に諸先輩方、組合員さんにサポートしていただいたおかげで何とか2年目を迎えることが出来ました。これからも初心を忘れず、笑顔を忘れずに日々努力していきますので、どうぞよろしくお願いいたします！

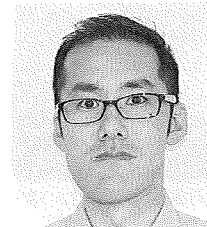


JF林崎

総務部 会計課
まつかわ てつや
松川 哲也

今まで経理事務所の仕事に携わってきたので、その経験を活かしていけたらと思っています。

仕事の慣れないうちは何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



JF神戸市

管理部 総務課
さの ひろし
佐野 紘敏

10月から神戸市漁業協同組合総務課で勤務しております。まだまだ分からないことだらけですが、しっかり仕事をこなしていくので、よろしくお願いいたします。



JF但馬

香住支所 販売課

つだ たく
津田 卓

香住支所の販売課で勤務しております。魚やカニを取り扱う部署ですので、素早く、且つミスの無いような作業が出来る努力をします。

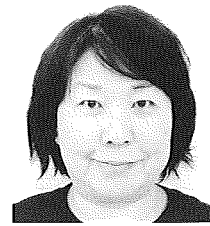


JF但馬

統括本部 専任部長

まる やま かず ひこ
丸山 和彦

一般企業の管理部門から但馬漁業協同組合に入職しました。漁業経営の細かい部分は未知ですが、今まで経験をしてきた経営改善・人材育成・新規事業立ち上げ・コンプライアンス等については積極的に取り組んでいきたいと思っています。組合の経営には、職員の管理能力と意識が大きく左右します。職員にとってやりがいのある職場環境作りにも取り組んでいきたいと考えています。大切なのは“顧客重視”“リーダーシップ”“人々の参画”です。



JF南あわじ

販売担当

しば た あつ こ
柴田 敦子

午前中は阿那賀支所、午後からは丸山本所で働かせていただいています。事務所も阿那賀は2階、丸山は3階にあり、体力にも自信がある方ですが、務めて丸4年…。今の体型を維持しております。この写真より2割減らして見ていただけると幸いです。また、皆様とどこかでお会いする機会があれば御確認願います(笑)



JF但馬

香住支所 共済課

はま もと あき ちか
濱本 晶愛

中途採用なのですが、前職との接点が無く右も左もわかりません。そのため焦らず、じっくり様子を伺いつつ積極的に仕事をこなして行き、少しずつ信用を得たいと思います。



JF但馬

香住支所 製氷冷蔵課

いわ がき あき ら
岩垣 昭

製氷冷蔵課で少しでも早く戦力になれるよう、日々の努力を惜しまずに精一杯頑張っていきたいと思っています。

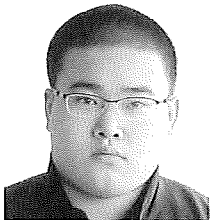


JF但馬

統括本部 企画指導課企画推進室長

ふじ わら まさ てる
藤原 雅晃

向上心を持ち続け、様々なことに挑戦したいと思います。ご指導宜しくお願い致します。

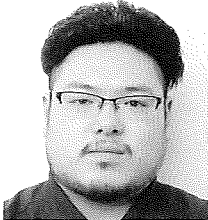


JF但馬

柴山支所 業務課

うえだ りょう た
植田 涼太

「魚ばなれ」が進んでいると聞き及び、微力ではありますが、魚食普及、魚のPRに努めて参りたいと思います。



JF但馬

香住支所 直販課兼購買課

しも がま だい ち
下釜 大地

平成27年5月に香住支所購買課で採用されました。4月からは直販課と兼任で仕事をするようになりましたので、一生懸命頑張りたいと思います。



JF但馬

統括本部 企画指導課企画推進室

まつ もと たく や
松本 拓也

地元の香住で働けることに大変嬉しく思います。この20代という若さを活かして、明るく元気な職場にしたいです。

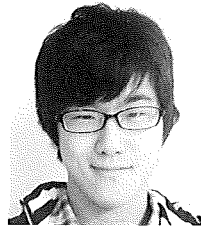


総務部付（流通加工部）

こにし ゆうや
小西 裕也

私は幼い頃から海や釣り、魚が好きで育ってきました。兵庫県漁連では大学で学んだ水産の知識を活かし、海を生業として生きる人たちや、漁業地域で暮らす人たちの幸せに貢献できる人材になりたいと思っています。よろしくお願いします。

JF兵庫漁連



津居山支所 業務課

ねひょう けんや
根兵 健矢

漁協で働くにあたり、高校で身に付けた漁業の知識を活かしたいと思います。社会人としての自覚を持ち、業務に励んで行きたいです。

JF但馬

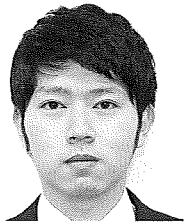


津居山支所 製氷冷蔵課

いせ まさとし
井瀬 政俊

4月から津居山支所製氷冷蔵課に勤務しております。まだ分からないことが多いですが、1日でも早く仕事を覚えられるように一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

JF但馬



総務部付（流通加工部）

みのだ はるき
蓼田 治樹

淡路島出身です。海が好きで漁業者のために働きたいと思い漁連に入会しました。

1日でも早く先輩方のように責任ある仕事ができるように頑張りますので応援、ご指導のほど、よろしくお願いします。

JF兵庫漁連



津居山支所 業務課

むらおか いくお
村岡 郁雄

平成27年10月から業務課に勤務しています。勤務してから半年過ぎますが、覚えることはまだまだ多くあります。先輩の皆さんに教えて頂きながら1日でも早く仕事に慣れるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

JF但馬



津居山支所 製氷冷蔵課

いそはし ゆうや
磯橋 佑八

元漁師で漁協の職員に助けてもらった側でしたが、これからは組合員の力になれるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

JF但馬



総務部付（流通加工部）

さ がわ こうた
佐川 幸太

今年度より流通加工部に配属されることとなりました佐川幸太と申します。

いち早く先輩方に追いつけるよう全力で頑張ります。

自分の長所である誰とでも気軽に話せる社交性を直販事業に活かしていこうと思います。

JF兵庫漁連



まつ おか てつろう
松岡 徹朗

まだ分からないことが多いですが、1日でも早く業務に慣れ、皆様のお役に立てるよう頑張ります。

どうぞ宜しくお願い致します。

JF浜坂



津居山支所 直販課

おかだ じゅん
岡田 隼

平成27年12月から直販加工部で働いております。今まで消費者側の立場でしたが、これからは販売する側になりますので、魚の調理法や美味しい食べ方など様々なことを勉強しなければならぬと感じました。まだまだ勉強不足ですが、自分なりに一歩ずつ成長して行きたいと思っています。

JF但馬



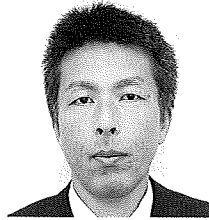
JF兵庫信漁連

営業部業務課 西播磨地区担当

むら い あゆみ
村井 歩

業務を早く覚え、周囲から信頼される人材になれるよう、向上心を持って日々努力してまいりたいと思います。

どうぞよろしく申し上げます。



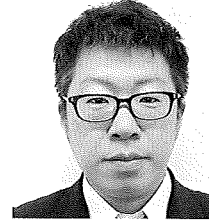
JF兵庫漁連

石油部 淡路油槽所

かわ の かず ゆき
河野 一恭

前年は雇員として上司、先輩に仕事を教えてもらい覚えるのでいっぱい毎日でした。

本年度は自分でできる仕事を増やし安心して任せてもらえるようスキルアップしたいです。



JF兵庫漁連

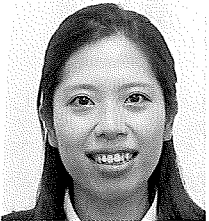
石油部 姫路白浜油槽所

た ぐち ひろ し
田口 裕士

雇員として1年間働かせてもらい、この4月から晴れて職員になることができました。

漁連の為、漁師さんの為に何ができるのかを日々考え、諸先輩方の良いところをどんどん盗んで成長していきたいと思っています。

今のこのポジティブな気持ちと謙虚さと自分らしさを忘れずに頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

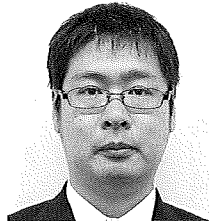


兵庫県内海漁船保険組合

総務部

かわ もと ひろ よ
川本 寛代

1日でも早く仕事を覚えて、漁業者のお役に立てるよう頑張りますので、よろしく願いいたします。



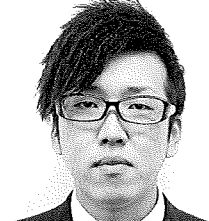
JF兵庫漁連

但馬支所 但馬油槽所

やま だ まさ ひろ
山田 将浩

危険物を扱ったり大型の車を運転する仕事なので、事故の無いようにしていきたいと思っています。

1日でも早く自分に任された仕事を覚え、会社に貢献することを目指し、精一杯仕事をしていきたいと思っています。



JF兵庫漁連

石油部 西飾磨給油所

にし かわ なお き
西川 直樹

「明るく 楽しく」をモットーに、漁連を今まで以上に元気にしていきたいと思っています。

宜しくお願いします。



但馬漁船保険組合

業務課

おく だ よし のり
奥田 芳憲

平成27年の7月より但馬漁船保険組合に入組しました。

まだまだ分からない事だらけで、ご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、皆様方のご指導とご鞭撻をお願いいたします。



JF兵庫漁連

流通加工部

にし かわ ひさ かず
西川 寿一

今度は限定職員として働かせて頂ける機会を頂きましてありがたく感じております。

これまでの5年間を少しは認めていただけたのかなと嬉しく思っております。

今後も、今まで以上に責任感を持って働いていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



JF兵庫漁連

石油部 淡路油槽所

もり さき ひろ ゆき
森崎 寛之

アルバイト、雇員で学んだ事を今後の仕事に生かし、今以上に責任感を持ち仕事に取り組んでいきたいと思っています。

浮力合羽着用で助かりました！

～JF淡路島岩屋 長野さんが取材協力～



JF兵庫漁連が、独自に開発し改良を重ねている浮力合羽。拓水では浮力合羽を着用して助かった皆様の声をお届けしています。

今回、ご協力いただいたのはJF淡路島岩屋で船曳網漁業に従事されている長野隆二さん（66才）です。長野さんから聞かせて頂いた話は次のとおりです。

3月15日（火）、天候も良く、波もなく穏やかな日でした。いつものように出港し、午前6時10分頃、明石海峡1号ブイ付近で網船から運搬船に移り移ろうとした時でした。ツバのある帽子を目深に被り、運搬船の「日除け」が視界に入らないまま乗り移ったので、ツバが日除けに当たり、その反動で船と船の間に仰向けに落水しました。しかし、浮力が大きいため胴までしか水に浸からず、顔が海に浸かることはありませんでした。幸いにも、船に体の一部が接触することも無く、また2船はすぐ離れたため挟まれることはありませんでした。引き上げ時に重くなると思い、長靴を海中で脱ぎ棄て、運搬船のペンドルに掴まっていたところ、仲間2人に引き揚げてもらい助かりました。

長野さんは「この合羽のお陰で、胸から上が海中に沈むことはなかったし、浮力が大きいので安心感があり、冷静に長靴を脱ぐことを考える余裕が出来たと思う。」と話され、最後に「この合羽のお陰で命拾いしました。浮力体は気にならず、

普通の合羽と同じように作業が出来るので皆さんにもお勧めします」と感想を話して下さいました。

この日同席されていた同JF東根壽組合長は「組合の船曳網協議会で浮力合羽着用推進を行っており、それが功を奏した。なにより怪我もなく助かってよかった。」とされました。また、東根組合長は長野さんを引き上げた2名のうちの1人であり、「今回は何とか引き上げることが出来たが、2人で船に引き揚げる作業は大変重く、波があればもっと困難であったと思う。縄梯子などに足を掛けることが出来れば時間を掛けずに済んだ」と、落水者救助に関し縄梯子等の装備の必要性も強調されました。

今回は、帽子のツバが当たったことは直接的な原因でありましたが、漁船間の移動時にも常に危険が潜んでいることを再認識させられる事例となりました。ライフジャケット・浮力合羽による安全確保はもちろんですが、普段の行動の中の危険性をどう認識するか、落水者救助に関する備えをどのように行うかといった新たな課題も見えたと思います。最後に、長野さんのご厚意で取材を実現することが出来ましたこと、厚く御礼申し上げます。また、取材へのご配慮、ご協力を頂きました同JF東根壽組合長、長野達矢参事にもこの紙面を借りまして御礼申し上げます。

（文：兵庫県水産振興基金）



協力頂いた長野さん

JF兵庫漁連は、海中転落による海難事故（O（ゼロ））を目指して、独自に開発・改良を重ねた浮力合羽の普及に努めています。

この浮力合羽の申し込み・お問合せは、各JFまたはJF兵庫漁連 資材部（TEL：078-942-9272）までお願いします。

「JAチャンネル兵庫」 JA元町駅で運用開始

JA全農兵庫

JA全農兵庫は4月21日(木)、「JAチャンネル兵庫」の運用を開始しました。JA・連合会と協力し、JR元町駅東口高架通2階に設置したJAグループ兵庫専用の大型LEDビジョン(幅5メートル、高さ2.8メートルの大型ディスプレイ)で、県産農畜産物の魅力やJAグループ兵庫の取り組みを紹介する動画を放映し、県内農業とそれを支えるJAへの理解を広く消費者に求める取り組みです。下部には電光掲示板を設け、イベント等の告知も可能です。

運用開始日には、曾輪佳彦県本部長のあいさつに続いて関係者一同によるカウントダウンが行われ、かけ声にあわせて画面に「START!」の文字が映し出されると、周囲からは大きな拍手が起きました。

セレモニー後は駅前広場で、新鮮な野菜や米、菓子などJAグループ兵庫の特産農産物・加工品を配り、道行く人々にPRしました。

JAチャンネル兵庫は、4月末まで試験的に運用し、5月から正式に放映を始めます。県内JA・連合会の紹介動画に加え、今後は個々の農畜産物をテーマにした動画も順次制作、放映する予定です。



JAグループ兵庫の特産農産物・加工品を配り、道行く人々にPR

転ばぬ先の適格消費者団体!

～被害を防ぐみんなの味方です～

「ひょうご消費者セミナー2015」を開催

3月7日(月)、兵庫県民会館にて、消費者支援機構関西(KC's)、ひょうご消費者ネット、生活協同組合コープこうべ、兵庫県生協連の4者共催「ひょうご消費者セミナー2015」を開催しました。

このセミナーは、「適格消費者団体」や「消費者団体訴訟制度」についての理解を深めるとともに、幅広い世代の消費被害の泣き寝入りをストップさせる「差し止め訴訟」などを学ぶもので、102名が参加しました。

冒頭、主催4団体を代表し、NPO法人消費者支援機構関西 榎彰徳 理事長が挨拶。

続いて「アド☆コン座」の「差し止め訴訟」の寸劇のあと、NPO法人消費者支援機構関西(KC's) 差止訴訟弁護士 弁護士 忠政 貴之氏が「貸衣装」の事例について、また、NPO法人ひょうご消費者ネット 司法書士 茂木 昌子氏が「30日間全額返金保証」の事例について、それぞれ活動紹介をしました。

その後、弁護士の角田 龍平氏が「実例で学ぶ、おもしろ法律講座～消費者トラブルの手口と対策～」と題して講演。「“NO!”と言えるかどうかポイント」「業者対応は一人ではない!誰かに“相談”することが大切です」など、契約の成立や訪問販売、特殊詐欺、トラブルにあわないためのポイントを学びました。参加者からは、「臨場感のあるコンテンツのあとに解説があり、分かりやすかった」「いろいろな手口に感心。どんなことでも『おかしいな?』『困ったな』と思ったら、すぐにホットライン『188』に相談しようと思った」などの感想が寄せられました。



◀角田弁護士の講演



▶事例の寸劇に会場は笑いに包まれました

<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>



旬に想う

写真と文
遊方子

クス落葉

◆クスはカシ・シイ・スギ・マツと同様、常緑樹として青々しているが、毎年新緑の頃に、新旧が入れ替わり落葉する。樅落葉・椎落葉・杉落葉・松落葉や楠落葉は初夏の季語で、「くす落葉して境内の広さかな」という虚子の句がある。古葉が落ちて掃くのに追われるらしいが、クスの善さは暑さを凌ぐに良い木陰を作ってくれる事にある。環境庁が88年に実施した巨樹・巨木の調査では、巨木の多さで日本一は鹿児島県始良郡蒲生にあるクスで24メートルを越える。八幡神社の境内にあり、周囲に覆い被さるような存在感がある。太さ十傑の九本を、クスが占め威容を誇る。

◆アニメ映画『となりのトトロ』に大きなクスが、架空動物トトロの棲む場所として出てくる。心優しい巨大な生き物に相応しく、明るい神々しい樹として描かれていた。『古事記』に明石の駅家(うまや)の記述があり、駒手の御井に生えていたクスの巨木で船を造ったとある。その速い事から「速鳥」と名付けたという。駅家の位置は定かではないが、クスは腐食に強く船材としても多く利用されている。また厳島神社の海中にある大鳥居は、クスで立てることと厳格に定めがあり、関係者は次代に役立つようにとクスの苗木を育てている。

◆クスが大量に伐られた時期がある。クスから樟脳が作られたからで、室町時代に生産が始まり、南蛮貿易で輸出の主要品目となったため、薩摩や土佐藩で早くから樟脳抽出を行い、全国からクスの原木を掻き集めたと古文書にある。またセルロイドの原料になった事から多くの巨木が伐られたそうだが、樟脳が比較的簡単に化学合成されるようになり、伐採に歯止めがかかったそうだ。中国浙江省の図書館ではクス材で書棚を作っており、古い書籍も虫食いが皆無だという。クスの成分の殺虫効力が生かされている。クスの仲間には芳香を発するものが数多くあり、ニッキの名になったニッケイや月桂樹などが含まれる。

◆義弟の隣家にクスがあり、大きく生育し枝を延ばしていた。毎年、沢山の葉を落とし、二階屋根の谷樋に溜って雨水を滞らせて溢れ、天井に大きなシミを作った。義弟は隣へ談判し、大木は程なく伐採された。新緑に変わる時に、降らせる落ち葉の量は膨大で、このような常緑高木の樹は一般家庭で植えるべきで無い。もつと広さのある神社・仏閣や学校の庭にこそ相応しい。大木にはなるが生育が遅く長い年月を要する。「くすのき学問」という言葉がある。進歩は遅くとも、堅実に成長してゆく学問の事で、人間なら斯くありたいものだ。

大輪田塾だより

「資源管理」と「内水面漁業」

19日(火)に行われた大輪田塾4月講座は、「資源管理型漁業について」、「ウナギの生活史と内水面漁業について」の2講義がありました。

「資源管理型漁業について」では県水産課 齋藤 公司氏が講師となり、資源管理の考え方、TACなど現在行われている資源管理方法、兵庫県の事例などの内容で行われました。質疑応答でも多くの質問があり、講座に加えて齋藤講師からクマガグロの資源管理の話や、資源管理と環境の変化なども話して頂き、塾生は興味深く聞いていました。

「ウナギの生活史と内水面漁業について」では、兵庫県内水面漁場管理委員会 秋武 宏会長(大輪田塾アドバイザー)が、海と河川を行き来するウナギの生活史を紹介した後、内水面漁業の概要について話されました。まだ説明されていない部分の多いウナギの話や、普段聞く機会が少ない内水面漁業の話に、塾生は今までと違った分野の知識を深めることが出来たようです。



内水面漁業について講義を行う秋武氏



大輪田塾で初めて講師を務める齋藤氏